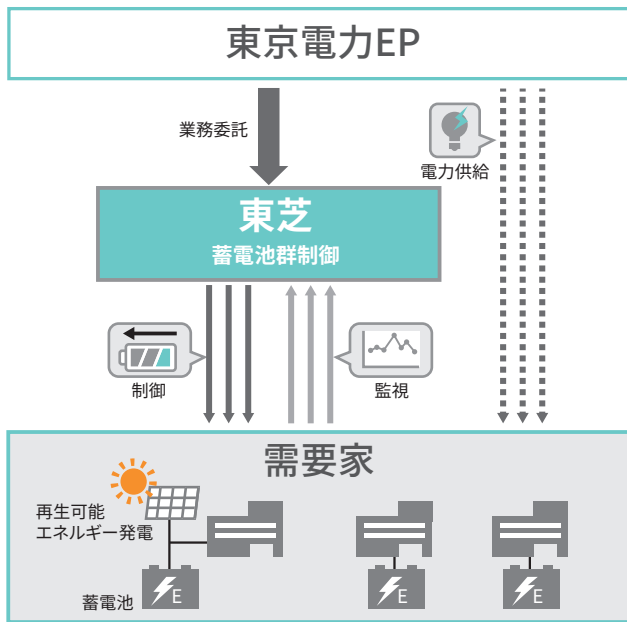


蓄電池を活用したバーチャルパワープラントのサービスを開始



蓄電池群制御によるVPPのサービススキーム
Service scheme of virtual power plant (VPP) using storage battery control technology

蓄電池を活用したバーチャルパワープラント (VPP) の運用サービスを、2019年1月に開始した。

VPPは、分散電源を統合制御して一つの発電所のように機能させるものであり、再生可能エネルギー大量導入時の需給バランス調整用電源としての利用が見込まれている。そこで、横浜市、東京電力エナジーパートナー（株）（以下、東京電力EPと略記）と共同で、蓄電池を活用したVPPの事業化を目指して2016年から2年間の実証事業を行った。この実証により、蓄電池の経済的利用や非常時電源としての利用などを検討し、複数の蓄電池を運用する蓄電池群制御技術を開発した。

今回開始したサービスでは、東京電力EPが電力契約をした横浜市の小学校11校に対して、蓄電池群制御技術を活用して、非常時電源や、ピークカット、デマンドレスポンスでの調整力提供などの蓄電池運用と、保守を担当している。

今回使用した蓄電池以外の様々なエネルギーリソースとも組み合わせることで、2021年度に創設される需給調整市場に適用できるよう、技術・サービス開発を進めていく。

東芝エネルギーシステムズ（株）

南相馬真野右田海老太陽光発電所・南相馬原町東太陽光発電所の営業運転を開始



南相馬真野右田海老太陽光発電所(太陽電池モジュール容量59.9 MW)
Minamisoma Mano-Migita-Ebi Solar Power Plant in Fukushima, Japan



南相馬原町東太陽光発電所(太陽電池モジュール容量32.3 MW)
Minamisoma Haramachi-Higashi Solar Power Plant in Fukushima, Japan

東日本大震災で被災した福島県南相馬市の経済復興及び地域活性化を目的とした、南相馬真野右田海老太陽光発電所(太陽電池モジュール容量59.9 MW)と南相馬原町東太陽光発電所(太陽電池モジュール容量32.3 MW)の建設工事が完了し、営業運転を開始した。

いずれの案件も、水田跡地の軟弱地盤であったが、共同のパートナーや委託工事業者と連携し、無事工事を完了した。主な特長は、次のとおりである。

- (1) 高品質の当社製多結晶270 Wモジュールを適用
- (2) 軟弱地盤向けに簡易斜杭基礎工法(T-Root®)を適用
- (3) 南相馬原町東太陽光発電所の自営送電線ルートに鉄道線下推進工事、国道下推進工事、河川下推進工事を適用

当社は、今後20年間のO&M(運用、保守)も請け負う。今回の工事で得られた知見を生かし、再生可能エネルギーの普及と更なる発展に貢献していく。

東芝エネルギーシステムズ（株）